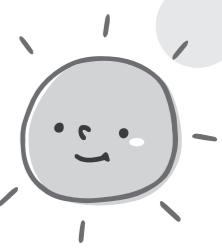


元気なまちかど



市をより良くするために子ども議員が提案 甲賀市子ども議会

「かふか21子ども未来会議」の子ども議会が1月24日、市役所内の議場で開催され、市内小学5年生から中学2年生の子ども議員24人と中嶋市長はじめ市幹部職員ら21人が出席し、議員の意見や質問に対して答弁が行われました。

議員は、昨年5月に任命されて以来、陶業や薬品会社、東海道の見学など市内各地で「甲賀の今」を学ぶ体験学習を重ね、市をより良くするための提案をまとめました。

若者の就業による農業の活性化を提案した伴谷小6年の組中善彦さんは「文章の構成や資料のまとめに苦労したが、しっかり受け止めてもらった。良い体験になった」と振り返りました。



▲議場で意見を述べる子ども議員

一足先に、鬼退治

甲賀子育て支援センターで1月27日、親子16組が鬼の面づくりや豆まきを行い、一足早く節分を楽しみました。

丸い紙皿に色紙をちぎって貼り付け、ユニークな表情の面が出来上がりました。

窓の外に鬼が突然現れると、驚いた子どもたちは、豆を何度も投げつけて鬼退治に成功。最後には全員で、節分にちなんだ歌やダンスを楽しみ、今年一年元気に過ごせるよう気持ちを込めて「鬼は外、福は内」と声を合わせました。



▲鬼の面づくりに熱中する親子

宿場通りをランプシェードでおもてなし 東海道水口宿おもてなし事業

「東海道水口宿おもてなし事業」の一環として、街道沿いに信楽焼のランプシェードを設置する取り組みが1月に実施されました。

まち並みの魅力を高め、東海道を旅する方へおもてなしをしようと、甲賀市ひと・まち街道交流館が初めて実施したものです。

31日には、参加した10人が、信楽町の窯元で作陶し、筒状の粘土を型で抜いたり、桜などの模様を切り抜いたりしてオリジナルのランプシェードを作りました。

陶器が焼き上がる3月以降、旅人の足元を優しい光で照らしてくれることでしょう。



▲オリジナルランプシェード作りに取り組む参加者

寒風の中を力走

第11回甲賀市民駅伝競走大会

第11回甲賀市民駅伝競走大会が1月18日、甲賀市陸上競技場帯で行われました。

小学生からマスタースの9部門で争われ、市内外から参加した76チーム517人が健脚を競いました。

雪の影響でトラックが使えず、中継地点が競技場外へと変更されましたが、第1区から第5区の走者が、1.5から3.5キロメートルのコースを走り、懸命にタスキをつなげました。



▲声援の中懸命にタスキをつなぐ選手

◎各部門の優勝チーム

- 【男子】
 - 一般／葵機械 チームまつさん
 - マスタース／滋賀マスタース
 - 高校生／水口東D
 - 中学生／水口A
 - 小学生／信楽陸上スポーツ少年団A
- 【女子】
 - 一般／種新
 - 高校生／水口東B
 - 中学生／水口A
 - 小学生／柏木REDNEX

将来について考えるきっかけに ～キャリア教育授業～

市内小学校では、仕事に対する理解を深めるキャリア教育授業が行われ、社会で活躍する様々な人から直接話を聞くことで、将来について考える機会となっています。

「ようこそ先輩」・貴生川小学校

貴生川小学校では1月19日に、弁護士として活躍する卒業生の岡村英祐さんを招いて授業が行われ、6年生120人が学びました。

岡村さんは、裁判の仕組みや弁護士の仕事について、クイズや体験談を交えて紹介されました。また、野球を熱心に取り組んだ学生時代の経験が今も自信となっていることを伝え、「好きなことを追求し、夢を持って頑張ろう」とエールを送りました。



▲後輩に語りかける弁護士の岡村さん

すし職人の技を披露・希望ヶ丘小学校

希望ヶ丘小学校では1月15日、滋賀県すし・料理生活衛生同業組合のすし職人が、6年生85人を前にすし作りを披露しました。

正確な包丁さばきや普段見ることが少ない「細工ずし」などの職人の技に、児童は、興味深く見入っていました。

また、「お客さんに喜んでもらおうと努力を重ねた。失敗を楽しみながら技術を磨いて」と呼びかけ、仕事に対する心構えややりがいを伝えました。



▲間近で披露される職人の技に見入る児童